

2024年4月8日
NTT東日本福島支店

富岡町における3D都市モデル構築のための MMS (Mobile Mapping System) の走行を実施します

東日本電信電話株式会社 福島支店（支店長 畠山 良平、以下、NTT東日本福島支店）は、「浜通り復興リビングラボ」の実証事業の一環として、富岡町における3D都市モデルおよびデータ連携基盤（デジタルプラットフォーム）構築のため、MMS（Mobile Mapping System）車両等、当社が通信設備メンテナンス業務で利用している技術と資産を活用した都市データの収集を行います。

1. 背景・目的

現在、日本各地で、3D都市モデルの整備やオープンデータ化が進められており、まちづくりや防災、カーボンニュートラルなどの社会課題を解決する新たなイノベーションが期待されています。

こうした状況の中、復興庁が主催する「浜通り復興リビングラボ※1」実証事業において「DXを活用した行政・住民サービス事業の実証」をテーマに株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）、株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（代表取締役社長：星野理彰）およびエヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社（代表取締役社長：上原一郎）は、共同（以下、「コンソーシアム」）で富岡町および浪江町にて実施し、3D都市モデルおよびデータ連携基盤（デジタルプラットフォーム）の構築やインフラ管理、駅周辺の街づくり、地域防災等をユースケースとした活用方法等の検証を行う予定です。

※1「浜通り復興リビングラボ」

生活の場を実験場としてイノベーションを実践するプログラムであり、このリビングラボを通じて、生活環境向上のための官民パートナーシップが浜通りに形成されることを期待する復興庁の取り組みです。

<https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-15/20230823110219.html>

（参考）「復興庁「浜通り復興リビングラボ」実証事業におけるシンポジウムにて事業進捗報告およびパネルディスカッションに参加」

https://www.ntt-me.co.jp/topics/2024/info_20240304.pdf

2. MMS (Mobile Mapping System) について

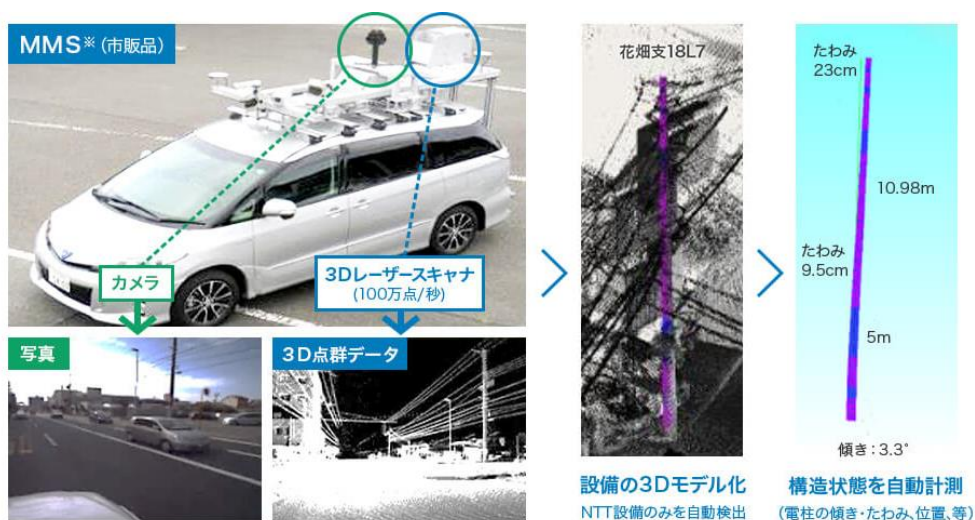
MMS (Mobile Mapping System) はレーザースキャナとカメラを搭載した車両にて計測走行を行うことにより 3D 点群※ 2 データを取得する技術です。NTT 東日本はスマートメンテナンス実現のため、MMS により得られた 3D 点群データから電柱等の通信設備を自動抽出し、3D モデル化、傾き等の構造状態を自動計測し点検業務に活用しています。

今回、通信事業で培ったノウハウ・アセットを活用し、町並みを点群データ・画像データ化し、3D 都市モデルの構築を行います。

※ 2「点群」 3次元座標や色情報等のデータを持つ点の集まり

【MMS を活用した電柱点検のイメージ】

※今回走行する車両、3D データと異なりますのでご了承ください



【点群データを基にした 3D 都市モデルイメージ】



3. 走行予定日

2024年4月10日(水) 10時～15時頃 (天候等により走行日・時間に変更になる場合がございます。)

4. 走行エリア

福島県双葉郡富岡町夜の森地区、小良ヶ浜地区、深谷地区周辺

5. 今後の予定

通信事業で培ったノウハウ・アセットを活用し、3D都市モデルおよびデータ連携基盤（デジタルプラットフォーム）の構築による富岡町を含め浜通りの復興・再生に向けたまちづくりに支援していく予定です。

【本報道発表に関するお問い合わせ先】

NTT 東日本 福島支店 広報担当

佐藤・本間 fuku_kisou2-gm@east.ntt.co.jp